

皆さんの意見を
反映させる
市議会を
傍聴しましょう

ひの 市議会だより

市議会だより 第135号

平成8年11月19日

発行日 野市議会

住所 〒191 日野市神明一丁目12番地の1
電話 (0425) 85-1111
内線 601 ~ 604

第3回定例会

平成7年度決算、全会計とも 全会一致で認定される

高齢者福祉条例の一部改正は賛成少数で否決に

平成8年第3回定例会は、9月3日から27日までの25日間にわたり開かれ、市長提出議案22件、議員提出議案3件、請願・陳情27件が審議されました(審議結果は6頁に掲載)。

今定例会では、一般会計決算及び特別会計決算の各特別委員会が設置され、平成7年度の決算審査が行われました(審査経過は2頁参照)。そのほかの市長提出議案14件中11件は可決・同意されましたが、第1回定例会より継続審査となっていた理容・美容券の交付に所得制限を設ける「日野市高

齢者福祉条例の一部を改正する条例の制定」については賛成少数で否決されました。また、同じく継続審査となっていた「日野市行政手続条例の制定」については「日野市立幼稚園の保育料徴収条例の一部を改正する条例の制定」とともに閉会中の継続審査となりました。

議員提出議案については、「ダイオキシン排出規制に関する意見書」など3件が原案どおり可決され、後日、意見書が関係機関に送付されました。

主な議案と内容

●高齢者福祉条例の一部を改正する条例の制定 (否決)

理容・美容券の交付要件に新たに所得制限(年189万3千円以下で、公的年金に換算した場合の年収は概ね352万4千円を設けるため、条例の一部を改正するもの)です。

●市税条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決)

市民税、固定資産税及び都市計画税の納税者が、最初の納期に第4期までの納付額を全額納付した場合に

報償金が交付される制度(前納報償金制度)を廃止するものです。

この条例は、平成9年4月1日から施行されます。

●平成8年度一般会計補正予算(第3号) (原案可決)

歳入・歳出にそれぞれ4億7千575万8千円を追加し、予算総額を45億2千324万2千円とするものです。

○地域防災計画修正版作成業務委託(515万円)

○公有財産購入(1億2千52万2千円)

○シルバーハウジングプロジェクト推進計画策定(82万9千円)

○4小学童クラブ増築工事(510万円)

○普通河川占用物件調査業務委託(700万円)

○幹線市道1-7号線舗装改良工事(2千万円)

○固定資産評価審査委員会委員の専任 (同意)

次の方の専任が同意されました。

杉山 一夫
(日野市百草614番地の1)

3件の意見書を可決

【提案に対する意見】
(反対) 実態調査を行い、福祉制度をトータル的に見直し整合性を考えるべきである。
(賛成) 所得に見合ったサービスの提供は、福祉の切り捨てにはならない。

今定例会では、意見書案3件が原案どおり可決され、後日関係機関に送付されました。送付された意見

書の要旨は次のとおりです。

●ダイオキシン排出規制に関する意見書

ダイオキシンは発がん性、催奇形性の毒性が強く、廃棄物等の焼却過程で発生することから、抜本的な対応が求められている。国民の健康と良好な生活環境を守るため、自治体、産業廃棄物排出事業者等関係方面へ指導に当たるとともに、公害の未然防止や環境保全を前提とした廃棄物行政の実

施を強く要望する。

【意見書提出先】内閣総理大臣、厚生大臣、通商産業大臣、環境庁長官

●東京都の行政改革大綱による三多摩市町村への財政負担軽減に反対する意見書

東京都が定めた行政改革大綱は、様々な補助金の削減による市町村への負担軽減をすすめるものである。三多摩市町村は、国の住民税減税による減収等で深刻な財政状況にあり、大綱の実施は市民サービスの低下をもたらすものである。従って、行政改革大綱による財政負担の軽減に反対するものである。

【意見書提出先】内閣総理大臣、大蔵大臣、自治大臣

●固定資産税の評価課税の適正化に関する意見書

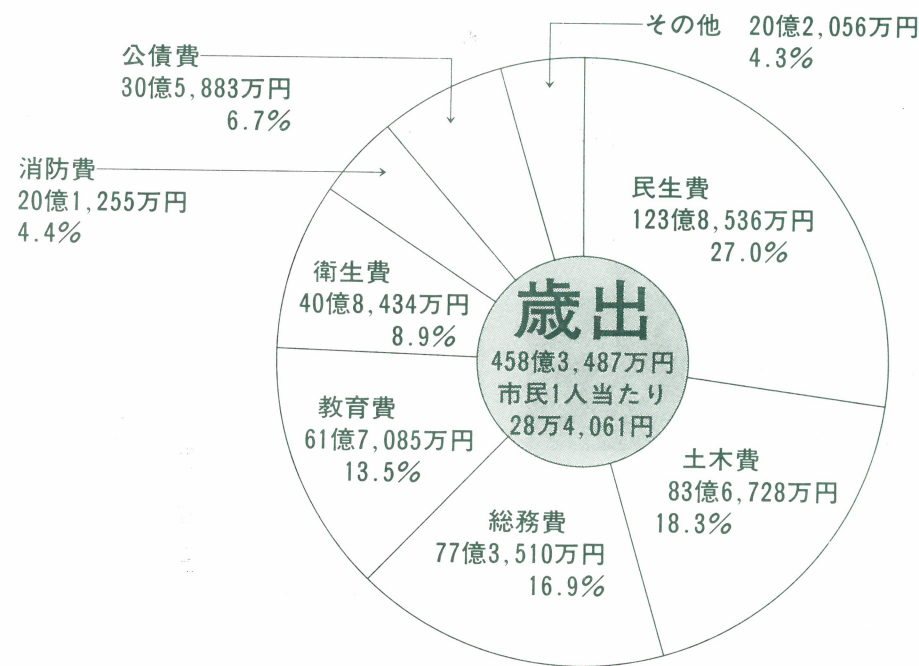
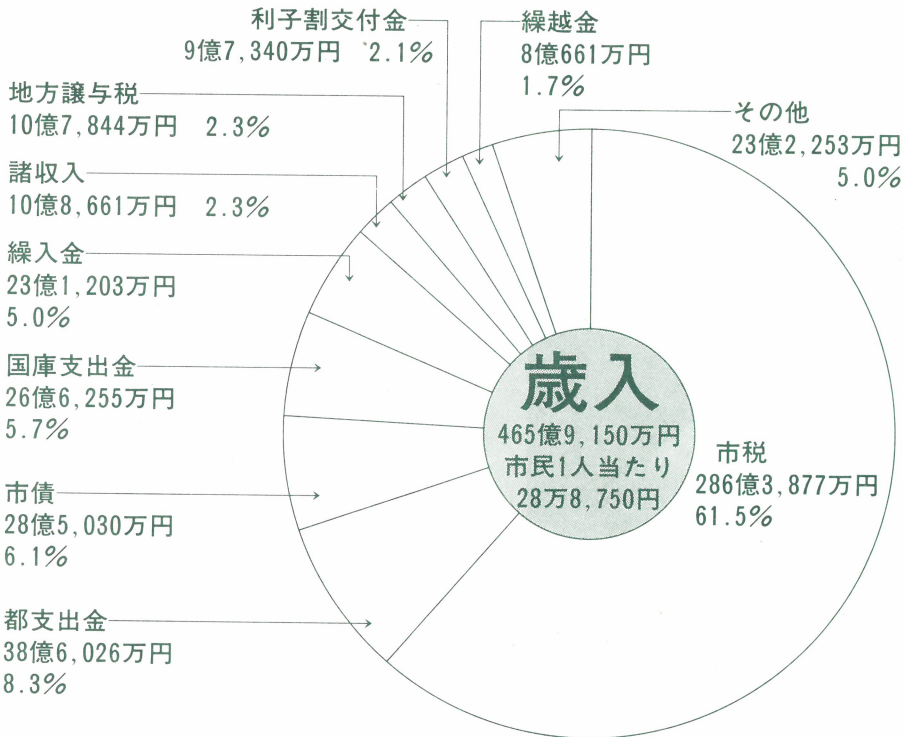
固定資産税評価額は、負担調整措置がなされているものの、地価の下落が続くなかで大きな負担となっている。平成9年度の評価替えにおいては、地価の下落に合わせ評価額を引き下げるとともに、袋地、未設道地等に対する評価の適正な見直しと評価の根拠を分かりやすいものにする必要がある。

【意見書提出先】内閣総理大臣、大蔵大臣、自治大臣

平成8年第3回 定例会日程

- ◆9月3日 本会議(会期の決定、行政報告、諸般の報告、議案上程、請願上程)
- ◆4日~11日 本会議(一般質問)
- ◆12日 本会議(一般質問、請願上程)
- ◆13日 常任委員会(総務、文教)
- ◆17日 常任委員会(厚生、建設)
- ◆18日~20日 一般会計決算特別委員会
- ◆24日 特別会計決算特別委員会
- ◆25日 特別委員会
- ◆27日 本会議(審査報告、議案上程)

平成7年度一般会計決算構成図



歳入総額から歳出総額を差し引いた7億5,663万円は翌年度への繰越額となります。

主な質疑としては、①健康普及及事業経費について（国民健康保険特別会計）②多摩平下水処理場跡地の管理経費について（下水道事業特別会計）③経営の改善と占床率について（市立総合病院事業会計）④水道水の残留塩素について（受託水道事業特別会計）等が出されました。

委員会では、慎重審査の結果、平成7年度特別会計決算については、7会計とも全会一致で「認定すべきもの」と決しました。

9月27日の定例会最終日の本会議において、小島委員長らの委員会審査報告の後採決が行われ、平成7年度特別会計決算は、7会計とも全会一致で「認定」されました。

平成7年度決算の審査から

一般会計決算

今定例会では、一般会計決算及び特別会計決算の2つの特別委員会が設置され、平成7年度予算が適正に執行されたか、財政運営は妥当であったかなどについて審査が行われました。

平成7年度一般会計の歳入決算額は465億9千150万3千円、前年度対比18億60万3千円（4.0%）の増となりました。対する歳出決算額は458億3千487万円、前年度対比18億5千58万3千円（4.2%）の増となりました。

また、平成7年度の7つの特別会計の歳入及び歳出の決算額は下段の表のとおりです。

平成7年度一般会計決算特別委員会は、9月18日、19日、20日の3日間にわたり開催されました。

冒頭、委員長に森田美津雄委員、副委員長に古富正敏委員が選任され、正副委員長のもと、平成7年度一般会計決算について審査が行われました。

審査は歳入全般から始まり、歳出の内、議会費、総務費、民生費、衛生費、労働費、農業費、商工費、土木費、消防費、教育費、公債費、諸支出金、予備費の順に行われ、延べ51人の委員から18件の質疑や行政への意見、提言、指摘が行われました。

主な質疑としては、①東

京都の行政改革大綱の実施による影響について ②都立美術館誘致対策事務費について ③女性活動推進事業経費について ④廃棄物減量等推進審議会について ⑤学校開放に対応するナイター設備の設置計画について等が出されました。

委員会では、慎重審査の結果、平成7年度一般会計決算については、全会一致で「認定」されました。

特別会計決算

平成7年度特別会計決算特別委員会は、9月24日に開催されました。

冒頭、委員長に小島久委員、副委員長に夏井明男委員が選任され、正副委員長のもと、平成7年度特別会計決算について審査が行われました。

認定すべきものと決しました。

9月27日の定例会最終日の本会議において、森田委員長より委員会の審査報告が行われた後、6名の委員から意見が述べられ、今後の行政に反映させることが求められました。その後、採決が行われ、平成7年度一般会計決算は、全会一致で「認定」されました。

平成7年度一般会計・特別会計決算額

区 分		歳 入	歳 出
一 般 会 計		46,591,503千円	45,834,870千円
特 別 会 計		32,265,332千円	31,785,280千円
内 訳	国民健康保険	6,208,566千円	6,089,519千円
	土地区画整理事業	4,266,656千円	3,842,762千円
	下水道事業	8,163,690千円	8,025,016千円
	市立総合病院事業	4,100,010千円	4,330,690千円
	受託水道事業	2,347,850千円	2,347,850千円
	老人保健	7,134,746千円	7,106,993千円
	老人入院共済事業	43,814千円	42,450千円
合 計		78,856,835千円	77,620,150千円

市議会の傍聴を

市議会は、市民の皆さんの意見や要望を代表して市の方針を決定する機関です。市議会は、本会議はもちろん、各委員会も原則的には公開されており、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、議会事務局にお申し出下さい。また、本会議の様子は、市役所1階市民ホールのテレビモニターで放映しています。

会議録のご案内

市議会では、本会議の発言内容を掲載した「会議録」を作成しています。

会議録は定例会、臨時会ごとにまとめられており、市内の図書館で閲覧できます。詳しい審議内容をお知りになりたい方はご利用ください。

今回（第3回定例会）の会議録は、11月下旬に出来上がる見込みです。



公明 (賛成)

政策決定には、協議会等の答申を尊重する正しいプロセスを経よ

平成7年度は、安易な基金の取り崩しで予算編成が行われました。92・6%と高水準にある経常収支比率は、財政構造の硬化化を示しており、厳しい財政運営を予測させるものです。

更に、協議会や審議会は、政策決定前に有識者に意見を答申としてまとめたいたくものですが、今年1月の廃棄物減量等推進審議会は、検討事項に対する報告があつただけです。最終処分場問題が社会問題化し、各自治体の廃棄物や環境行政が問われる中、廃棄物の減量や再利用の促進に消極的な姿勢がうかがわれます。また地域保健協議会も一度も答申が行われていません。市立総合病院の建て替えは、保健・福祉・医療の連携

した総合的体制について諮問し、その答申に基づく基本計画であるべきなのに、協議会には報告事項として説明があつただけです。策定プロセスの過誤であり、今後協議会設置の趣旨や条例に基づくプロセスを踏むことを要望します。今後、病院建設事業や在宅サービスの拠点整備等で多額の財源が必要となります。歳入の伸びは期待できません。政策の変更や発想の転換、実情に沿った行政組織の改革を強く要望し意見とします。

民主クラブ (賛成)

区画整理、高齢者福祉等の事業推進を要望し、消極的に認定する

消極的に認定する立場で問題点を指摘し、今後の改善と努力を要望します。日野市の財政状況は依然厳しく、経常経費の削減と財政調整等の基金を取り崩して事業が行われています。区画整理事業は、一般会計から14億5千万円が繰り入れられ、16か所で事業が同時進行しています。万願寺地区は事業認可を受けてから15年が経過したのに、未だ85%の執行率です。東京都の用地取得の遅れが原因の一つです

が、問題解決に向けて、用地取得に積極的に協力すべきではないでしょうか。市長が公約する下水道普及率100%の実現や中央高速道路の課税問題についても、責任を持った対応を要望します。また、都立美術館誘致に関する運営経費の予算執行がさ

つこと、資源ごみと焼却ごみの分別を徹底するよう指導することなどを要望します。最後に、保健福祉計画についてですが、南部地域の病院設置は、医師会に要請し検討して当たっていただきたい。また、今後は特別養護老人ホームのような収容施設ではなく、家庭と施設を往復してリハビリする通過型の施設が必要と考えます。江東区の「おとしより公社」のような事業も取り入れ、高齢者福祉の充実を要望し意見とします。

平成7年度一般会計決算に対する各会派の意見表明は、9月27日に本会議場で行われました。各会派の代表者の意見は、すべて認定に賛成するものですが、行政に対する多くの要望や指摘が含まれていました。

各会派の意見(要旨)は次のとおりです。

一般会計決算 各会派の総括意見

市民クラブ (賛成)

健全財政の確立と、毅然とした態度での行政運営を要望する

一貫して、財源の効率的な運用で行政改革の推進を行うべきとの視点で提言を行ってきました。決算審査では、多くの問題点が提起されましたが、その内、予算執行の在り方に絞って指摘します。20億5千万円の歳入増の内、14億円が市民税によるものです。またその内の9億円強は法人市民税の増によるものであり、企業が努力を重ねて生み出した利益、まさしく血税です。その歳入増額のほとんどである20億4千万円

は、単に基金積立金に置き換えられました。余りに策も思いやりもない行政手法であると指摘せざるを得ません。また、110億円ある積立基金のほとんどが積み付けであり、本来の意味での基金は38億円程度しかありません。更に、平成8年度分を加えた借入金額は620億円、市民一人当たり38万円にもなり、極めて深刻な状況です。経常収支比率92・6%という数字からも財政管理の甘さが伺われ、行政改革の答申に沿った健全財政

を確立し、毅然とした態度での行政運営を望みます。最後に防災訓練について問題提起をしておきます。阪神・淡路大震災だけでなく、近年の大規模災害に対する自衛隊の活動は、多くの地域住民を救いました。来年度からの防災訓練には、市民の命と財産を守るために自衛隊と連携した訓練が行われることを要望します。

以上、問題点が一刻も早く改善されることを期待し、決算認定の意見とします。

護憲市民会議 (賛成)

多くの施策の推進を高く評価 残された課題解決に向け努力を

市民要望が膨らみ続ける中、公共施設建設基金の取り崩しや経常経費の削減等で、財源の確保に努められた職員の努力と理事者の決断に苦労があつたことと推察します。95年度は多くの評価すべき施策の推進がみられました。市内連絡バス南平路線の開設、重度心身・知的障害者施設の送迎費補助、高齢者用住宅55戸の増設、35日の老人給食サービスの実施、梅が丘地区センターの新設、第2次女性行動計画の策定、延長保育

に対する民間保育所への補助制度の創設、資源回収ステーション77か所の増設、水車小屋の設置で完了した向島用水親水路整備工事、雨水浸透升設置事業の推進、平山と百草の緑地用地の取得、避難所となる全小学校に完備が終了した防災備蓄コンテナ2基の設置、中央図書館の夜間開館の実施等、それぞれの分野で高い評価を受けました。最後に、今後に残された行政課題について触れておきます。

福祉については、高い視野に立つて抜本的な見直しを行い、市民参加を得ながら誰もが納得できる制度の構築を行うことを要望します。また、市民活動が活発に展開できるスペースを確保すること、ごみ減量への徹底した取り組みが出来るような人員配置を考えること、行政情報はプライバシーに係わらない限りすべて公開すること、市民参加は男女平等を原則とすること、以上をお願いし意見とします。

日本共産党市議団 (賛成)

国の起債押しつけや都の事業削減に屈せず、更に施策の前進を

日野市の財政は、国や東京都の財政の影響を受けずに決定、運用されることはありません。当然、国の予算の動向が、予算編成に大きな影響を及ぼすことは、論を待たないところです。95年度の歳入の大きな特徴は、減税に伴う減収値の補てんにあります。この3年間の起債総額は利子も合わせると85億円に達します。後年、これらの返済が日野市の財政に大きな圧力となることは間違いありません。

自治体に膨大な起債を押しつける政府は、地方財政にどのような責任を持つのでしょうか。消費税率の引き上げに伴う地方消費税の創設によって起債分を賄うという考えのようですが、市の試算では決して財政状況は好転せず、大幅な持ち出しが見込まれています。監査委員の報告によれば、95年度は所期の施策や事業が概ね達成されたことが評価されています。市内連絡バス南平路線の開通を始め、教育、

福祉、まちづくりの面でも市民要望にこたえる努力の跡がうかがえます。更に施策を前進させ、来年度の予算編成にも反映させることを期待します。

「住民こそ主人公」憲法を市政に生かす」この立場を貫き、政府の起債の押しつけや東京都の事業の削減等々に負けることなく、職員の努力によって市民要望にこたえる地方自治の本旨に立った施策が前進できますよう強く要望し意見とします。

他に無会派の議員(1名)から賛成の意見表明がありました。

質問(要旨)

各定例会では、市政全般について一般質問が行われます。今回は23名の議員から51件の質問がありました。



▲新鮮野菜を格安で即売(土曜日)

執印 真智子

(無会派)

女性への性暴力追放都市宣言をし男女共生都市を実現せよ

問1 性暴力に対して女性センターの充実を図れないか。
問2 青少年育成のため日野ケーブルテレビに対し番組について意見が出せないか。
問3 人権教育の視点での性教育の必要性について問う。
問4 男女共生憲章、女性への性暴力追放宣言を検討でき

ないか問う。
答1(生活文化部長) 市内女性行政連絡会等で今後取り組んでいきたいと思います。
答2(企画財政部長) 市民からの苦情等について配慮してもらえよう努力します。
答3(学校教育部長) 男女の人間関係を築き、社会の一員として基本的な性の知識の習得を目指しています。
答4(市長) 女性行動計画が議論されているので、男女共生社会の健全な発展のため憲章等の制定も良いと思います。

夏井 明男

(公明)

行政改革について

問 行政改革と実施計画の具体的な実施時期を問う。
答(助役) 現在、整理しており、できれば会期中には提示していきたいと思います。

多摩平団地建て替えについて

問 これからの展開について基本的な決意を問う。
答(市長) 従来どおり、住

民の生活の実態に十分配慮するとともに、理解の得る形で実践できるよう努力していきます。
問 今後の展開を問う。
答(都市整備部長) 修復型の地区計画を検討しています。
再雇用制度
問 再雇用者をどのような位置づけられているのか。
答(総務部長) 一般業務の補佐として従事しています。

天野 輝男

(民主クラブ)

仮称西豊田駅は森田市長が行政報告しているように可能であるのか再度問う

問 今後の事業展開を問う。
答(市長、企画財政部参事) 先般、地元の協力体制づくりのために誘致事業推進事務所を開設しました。事業本部設置に向け全力を尽します。
多摩川苑福祉ゾーンの基本計画の中で、年次計画

につき問う

問 計画どおり進むのか。
答(福祉部長) 多少の時間のずれはありますが、民間協力も視野に入れながら実現に努力します。

幼児障害者の早期発見治療につき問う

問 検診体制等、市の対応について問う。
答(生活文化部長) 乳幼児検診の中で疾病の早期発見に努め、保健所等関係機関と連携し対応しています。

鈴木 美奈子

(日本共産党市議団)

多摩平団地建て替えと、豊田駅北口商店街の活性化について

問1 家賃制度について市は公団へ交渉してもらえないか。
問2 北口商店街の空き店舗に新しい事業者を入れることはできないか。
問3 豊田駅北口周辺整備計画策定に多摩平商店街との対話は行えないのか。
答1(市長) 交渉します。

答2(都市整備部長) 検討します。

答3(同) 住民の方、商店街の方の意見を聞いて都市計画をつくりま

人権尊重のあたかい生活保護行政を

答(福祉部長) 相談を受ける際には、ケースワーカーが悩みを十分に聞き、生活保護法に基づき適切な対応をしています。また、保護に該当しない方にも別の支援の方法がないかできる限りの援助を行うよう努めています。

宮沢 清子

(公明)

「脳ドック検診」の実施を問う

問1 市立病院で脳ドック検診を実施できないか問う。
問2 従来のがん検診制度に肝臓がん検診を加えられないか問う。

答1(病院事務長) 今年の5月にMRIを導入したところですが、さらに機器を充実させ、受診率を高めるための制度の整備をしていく必要を検討します。

佐藤 洋二

(無会派)

「西豊田駅誘致」実現に向け、体制の整備は出来たか

問 西豊田駅開業に向けた運動の組織づくりと新駅設置事業経費の負担について問う。
答(市長、企画財政部参事) JR東日本との交渉で新駅設置の具体的な条件が示され、これを受けて官・民一体となった西豊田駅誘致事業推進本部を設置し、当面この活動に全

力を注ぎ、地元の協力と参加をお願いします。また事業経費については今後創意工夫をしながら検討していきます。
旭が丘地域に念願の図書館を

問 旭が丘地域における図書館の必要性について問う。

答(市長、生涯学習部長) 日野市立図書館の将来構想案を具体化すべく検討している中、旭が丘地区には中規模の分館を設置する方向ですが用地確保の問題もあり、実現のめどが立たない状況です。

奥住 日出男

(民主クラブ)

スポーツ施設の充実について問う

①(仮称) 仲田総合体育館の建設について
②市民野球場の建設について
問1(仮称) 仲田総合体育館建設について今後の進め方と建設時期について問う。
問2 市民野球場の建設計画と市の考え方を問う。
答1(市長、企画財政部長、

生涯学習部長) 早い時期に、用地の取得が可能な時期を見据えて、今後の実施計画の見直し等の中で、基本計画上の設定等を進め検討できると思

います。建設時期については具体的に答えられる状況ではありません。

答2(同) 北河原公園の計画を検討する中で、実現させていく方法があると思いま

江口 和雄

(市民クラブ)

市民が安心して暮らせる防災対策を推進せよ

問1 災害発生時にアマチュア無線の協力は得られないか
問2 市民が興味をもてる防災訓練に改善はできないか。
問3 自主防災組織と校区コミュニティ協議会の進捗状況について問う。

答1(総務部長) 協力体制についてアマチュア無線クラブと話し合っています。

菅原 直志

(無会派)

ネットワークの活用で市民サービスの充実を(その2)

問1 住民票等の自動交付機の導入について問う。
問2 ハソコ通信により市民への行政情報サービス、また、防災情報の収集、整理等に対して活用を考えを問う。
答1(市長) 行政サービスに適切に機能できるかどうか内部で検討しています。

答2(総務部長、福祉部長) 生涯学習部と連携して、検討していきたいと思

実効性のある行政改革のために具体的な議論を望む

問 行政改革を進めるなかで、総予算の14%を占める委託事業全般の見直しが必要ではないかを問う。
答(市長) 社会情勢の変化を踏まえ、時代に即応できる透明度の高い内容を形成できるように、内部努力をしていきたいと思

馬場 繁夫

(公明)

遅れている「文化・スポーツ施設整備促進」と市民サービス新時代の「余暇環境整備」へ発想の転換を問う

問1 文化・スポーツ施設が不足している。学校開放の推進に向けた財政対応を問う。
問2 限られた施設を有効利用するソフト面の整備を考える必要があるのではないか。
答1(企画財政部長) 改修

時には、学校開放を前提とした予算措置をしていきます。

答2(市長) 当面する課題として発想の転換を市内に求め取り組んでいきます。

高幡不動駅、豊田駅の「地下駐車場・駐輪場」促進について問う
問 区画整理事業には、駐輪場も計画されているのか。
答(市長、助役) 豊田駅前には一定のスペースが確保できます。高幡不動駅では周辺市有地の利用等、解決に向け取り組んでいく考えです。

吉富 正敏

(民主クラブ)

福祉・保健・医療の総合的な運営について問う

問1 0-107予防対策本部の対応について問う。
問2 介護支援センターについて問う。

答1(生活文化部長、学校教育部長) 保育園や小中学校等に2週間分の献立が保存できる冷蔵庫を設置しました。給食の安全性の確保、飲料水の管理、広報等による予防P

Rを実施しました。
答2(助役、福祉部長) 福祉法人に経営を依頼し、地域の出先機関として中学校区単位に設置する考えです。

多摩平団地の建て替えと豊田駅北口整備について問う
問1 市長は自治会との約束を守ってくれるのか問う。
問2 住民参加はいつごろになるのか問う。

答1(市長) 守ります。
答2(都市整備部長) 年明け頃に予定します。

一般

森田 美津雄

(護憲市民会議)

「憲法を市政に生かそう」のスローガンの価値とその先見性―地方自治が国に基本政策の転換を迫る時が来た―

問 市民参加による行政への住民意思の反映と、地方自治体の権限保障を求めていくことが、住民の基本的な権利を守り国政を動かす世論の形成につながるのではないかと問う
答(市長) 間接民主主義と

いう制度における住民参加の方法を、積極的に工夫していきます。

「個人情報保護条例」の制定へ向けた具体的検討は進められているのか

問 個人情報保護条例を制定すべきと問う
答(企画財政部長) 自己情報コントロール権の確立ということを基本理念に、情報の範囲、権利主体、権利の及ぶ範囲等、検討事項は多くありますが、制度化に向けて努力していきます。

問 日野駅の抱えている実態を把握し実情を訴えるために調査を委託しました。
答2(企画財政部長) 100m程度の土地が確保できる見込みなので、庁内調整を進め具体的な実現を図ります。

小島 久

(民主クラブ)

日野駅舎及び駅周辺環境整備は何故進展しないのか

問1 日野駅舎の改造が18年間経過した今も進展していないが、その理由について問う。
問2 日野駅西口広場におけるトイレの設置について問う。
答1(市長、企画財政部参事) 民営化されたため公共性重視から採算性重視に変更になり交渉がなかなか進展しませ

問 日野駅の抱えている実態を把握し実情を訴えるために調査を委託しました。
答2(企画財政部長) 100m程度の土地が確保できる見込みなので、庁内調整を進め具体的な実現を図ります。

大坂上二丁目地域まちづくりの考え方を問う

問 区画整理事業で取り残された大坂上二丁目三角地帯の今後の整備計画を問う。
答(都市整備部長) 今後地区計画によって、何とか前進を図りたいと考えています。

中谷 好幸

(日本共産党市議団)

商工業振興をまちづくりの柱に―中小企業振興条例の制定、地域産業振興計画の策定を求める―

問1 地域経済の主役ともいえる中小商工業者の育成に対し、市の考えを問う。
問2 中小商工業者の営業等の実態調査実施と中小企業振興のための基本条例の制定について問う。

答1(市長、生活文化部長、都市整備部長) 新しい行政の仕組みと関係者の方々の積極的な参加をお願いし、都市形成の大切な要素として産業経済部門の活性化に取り組んでいきたいと思っています。
答2(市長、生活文化部長) 現状を十分に把握し、現在ある条例を中心にきめ細かく見直しを行い、改めるところは改め具体的な産業振興条例の制定、産業審議会の設置、また中小企業者の実態調査等につき十分検討し、対応していきたいと思っています。

橋本 文子

(護憲市民会議)

各種審議会等すべて公開制にせよ

答(市長) 各審議会、委員会と運用していけばよいと思います。

住民サービスの充実を

答(市長) 休日の住民票等の交付について検討中です。

高齢者福祉の今後の施策について年次を追って具

体的に示せ

答(福祉部長) 緊急性の高い項目を重点的に進めていきます。

障害をもつ子どもの通所施設「虹の家」は現状のままでもいいのか

答(市長) 市として適切な方法を考えてみます。

小学校、中学校校舎の耐震対策を考えているのか

答(学校教育部長) 大規模改造の中で耐震対応を実施していきます。

問 高齢者の福祉施策を問う。
答(福祉部長) 当面は、保健福祉計画の課題のもとに、必要性の高いものから着実に実施していくことが重要と考えます。

竹ノ上 武俊

(日本共産党市議団)

梅が丘地下壕の今後の安全対策について問う

問 今後の地下壕の調査、安全対策等の解決に向けての対応を問う。
答(市長) 国と都の立ち合いのもと調査を行い、今後の方向性を見いだして行きたいと思っています。

高齢者介護の前進のため

問 消費増税率アップには、地方自治体も反対せよと問う。
問 消費増税による財政への影響について問う。
答(企画財政部長) 一般、特別会計予算を合わせると、約4億円の歳入を見込んでおり、影響が予想されます。

田原 茂

(公明)

高齢者を交通事故から守ろう

問1 反射材を使用したペンダント等を配布できないか。
問2 敬老大会等の集まりで安全教育を実施できないか。
答1(建設部長) 夜間での効果は大きいと考えますので、今後検討していきます。

答2(建設部長、福祉部長) 交通管理者と協議し、実施に向けて調整していきます。

問 再び問う高齢者のための公的保証人制度はいつから導入するのか
答(福祉部長) 家主や不動産業者の理解と協力が必要です。他市の事業も参考に前向きに検討していきます。

米沢 照男

(日本共産党市議団)

重度知的障害者の生活施設実現に向けて積極的な取り組みを

問1 多摩更生園の跡地を生活施設の用地に確保できないのか問う。
問2 生活施設を日野市の障害者施設に位置づけることはできないのか問う。
答1(市長、福祉部長) 東京都に対し要請行動をします。
答2(福祉部長) 今後市と

問 潤徳小学校の横に用地を確保したことは地域保健協議会に先日報告しました。

今後医師会と協議し原則的な合議ができ次第、病院建設運動をしてこられた方々をはじめ地域住民に対し説明会を設けます。

問 条例を含めたごみ事業基本計画の見直しを問う。
問2 市民と行政の協力で、ゴミの減量、リサイクル事業をどのように取り組んでいくのか問う。
答1(環境部長) 廃棄物減量等推進協議会からの答申等を考慮にいれて対応していきたいと考えます。
答2(市長) 難しい課題ではありますが、一歩一歩進めて取り組んでいきたいと考えています。

板垣 正男

(日本共産党市議団)

姥久保都営住宅建て替えは周辺地域との環境の整合性を十分考慮されたい

問 建て替えについて市の見解を問う。
答(市長) 地元に対する説明の順序の間違いがあり、申し訳なく思っています。今後は、地元の要望に応えられるよう努力していきます。

市民と行政の協力で徹底したゴミ減量、リサイクル

問 0-157対策を問う。

渡邊 馨鴻

(無党派)

日野市における「0-157」発生の状況とその対応を問う

答(生活文化部長) 7月下旬に1人から検出されましたが、幸い軽症でありすぐに退院しました。

答(学校教育部長) 定期検査の実施とともに、休日明けには赤水に対する安全対応に留意するよう指導しています。今後老朽化した給水管の改修に取り組んでいきます。

問 0-157対策を問う。

沢田 研二

(民主クラブ)

老人給食の一層の充実について問う―食料400円はあまりにも高い、その後どう改善されたか―

問1 老人給食の調理運搬費用の改善について問う。
問2 市内民間給食業者の活用について問う。
答1(福祉部長) 調理能力を上げ配食数を増やし単価を下げる、また委託料の引き下げ、ボランティア等市民の協

問1 成果としてあげられるものについて問う。
問2 審議委員に企業、組合の代表者がいない理由を問う。
答1(企画財政部参事) 給与手当の改正、OA化の推進、事務効率化の実施などがあげられます。
答2(市長) 委員の選択に意図はありません。

問1 消防訓練の在り方を問う
問1 各避難場所ごとで、よ

小山 良悟

(民主クラブ)

情報化時代、地域FM放送導入について

問 FM局導入の考えを問う。
答(企画財政部長) 行政からの情報提供、また、特に災害時の情報手段としては、非常に有効と考えます。今後は、研究、調査していきたいと思っています。

防災訓練の在り方を問う

問1 各避難場所ごとで、よ

佐瀬 昭二郎

(護憲市民会議)

ふたたび梅が丘旧陸軍地下壕について

問1 事故責任の所在と復旧工事の費用負担について問う。
問2 どこまでの範囲を実態調査する考えなのか。
答1(都市整備部長) 国が防空壕を掘った裏付け資料を示し、然るべき指導、支援等をお願いする考えです。
答2(同) 基本的には梅が丘団地に限るつもりです。

問1 学校図書館事務嘱託員の役割はどう変わってきたか。
問2 嘱託員の活動の成果を総括し、まとめはどうか。
答1(教育長、学校教育部長) 司書教諭の配置までの過渡的措置という位置付けは変わりませんが、有資格者等にお願います。要綱を改めました。
答2(学校教育部長) 任期の6年が経過するので、教育委員会内部で検討し、年内にはまとめよう努力します。

問1 学校図書館事務嘱託員の役割はどう変わってきたか。
問2 嘱託員の活動の成果を総括し、まとめはどうか。
答1(教育長、学校教育部長) 司書教諭の配置までの過渡的措置という位置付けは変わりませんが、有資格者等にお願います。要綱を改めました。
答2(学校教育部長) 任期の6年が経過するので、教育委員会内部で検討し、年内にはまとめよう努力します。

今定例会では、請願・陳情27件が審査され、うち10件が採択、1件が取り下げ、16件が閉会中の継続審査となりました。

◎固定資産税等の評価課税の適正化に関する請願

【請願の要旨】土地に係る固定資産税の評価額は、負担調整がされているものの重い税負担となっております。平成9年度の評価替えでは、評価額を引き下げ、税負担の適正化を図ることに、袋地等の評価の見直しを関係機関に働きかけることを要望します。

【結論】全員一致の採択です。

◎高齢者理美容券の所得制限導入に反対し、現制度

常に厳しい現在、市に設立を望んでも実現は困難と思われるので、私達は実績のある社会福祉法人の力を借りてぜひ実現させたいと願っています。そこで知的障害者の生活施設を設置するために、ぜひ市が土地を提供して下さい。

【結論】全員一致の採択です。

◎【豊田公園（仮称）の建設】は地域住民を加えた準備委員会の設置を求める請願

【請願の要旨】豊田南区画整理事業によって新設される豊田公園（仮称）について地元住民がボランティアで運営し、地域の特色を生かす高齢者や子供が仲良く寛げる公園にするため計画及び利用方法につき地元住民を加えた準備委員会の設置

【結論】全員の一致の採択です。

◎豊田南の区画整理に伴う
都市計画道路及び下水道
の建設促進を求める請願

業に伴い都市計画道路3・3・2号線の国道認定及び都市計画道路3・4・19号線の都道認定の認定申請と道路建設促進を早急に行い豊田南地区で下水道を利用できるように工事に着手し、

継続とは

◎減歩の諸点について見直して下さいの陳情

償を主とするようにして
下さいの陳情

区並み28_mとし保留地を確保してつけ換地に充当

	議案番号	件 名	結 果
市 長 提 出 議 案	第 29 号	日野市高齢者福祉条例の一部を改正する条例の制定	否 決
	第 43 号	平成 7 年度日野市一般会計決算の認定	認 定
	第 44 号	平成 7 年度日野市国民健康保険特別会計決算の認定	認 定
	第 45 号	平成 7 年度日野市土地区画整理事業特別会計決算の認定	認 定
	第 46 号	平成 7 年度日野市下水道事業特別会計決算の認定	認 定
	第 47 号	平成 7 年度日野市立総合病院事業会計決算の認定	認 定
	第 48 号	平成 7 年度日野市受託水道事業特別会計決算の認定	認 定
	第 49 号	平成 7 年度日野市老人保健特別会計決算の認定	認 定
	第 50 号	平成 7 年度日野市老人入院共済事業特別会計決算の認定	認 定
	第 51 号	日野市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決
	第 52 号	日野市市税条例の一部を改正する条例の制定	原案可決
	第 54 号	平成 8 年度日野市一般会計補正予算（第 3 号）	原案可決
	第 55 号	平成 8 年度日野市受託水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
	第 56 号	平成 8 年度日野市老人保健特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
	第 57 号	市道路線の一部廃止	原案可決
	第 58 号	市道路線の廃止	原案可決
	第 59 号	万願寺土地区画整理事業地区都市計画道路日野 3・4・8 号線築造（その 9）工事請負契約の締結	原案可決
	第 60 号	浅川左岸第四処理分区（7－1）工事請負契約の一部変更	原案可決
	第 61 号	消防ポンプ自動車の買入れ	原案可決
第 62 号	日野市固定資産評価審査委員会委員の選任	同 意	
議員提出議案	第 15 号	ダイオキシン排出規制に関する意見書	原案可決
	第 16 号	東京都の行政改革大綱による三多摩市町村への財政負担転嫁に反対する意見書	原案可決
	第 17 号	固定資産税の評価課税の適正化に関する意見書	原案可決

早期実現を望むものです。

【結論】全員一致の採択です。

してくださいの陳情

保全に関する請願

◎多摩平団地の建て替えに伴い住民意見を日野市

◎日の出町谷戸沢廃棄物広

◎「共に楽しく暮らせる町づくり」の実践推進のため障害者福祉団体の自立促進の公的援助実施に関する請願

陳情

◎東京都の区市町村に對する各種補助金の一方的削減に反對する陳情

◎「共に楽しく暮らせる町づくり」の実践推進のため日野市障害者雇用促進援助事業の適正実施に関する請願

◎教職員の給与費半額国庫負担などの義務教育国庫負担制度の堅持と除外された費用の復元を求める陳情

◎WTO協定改訂・セーフ
ガードの発動など都市農

◎公営斎場の建設に関する
請願

の改正に反対する陳情

ご存じのとおり日野
尊で開催される菊花
展示会とのことです
地区全域の菊愛好家
輪や懸崖づくりの菊

取り下げられた
請願

う。

.....

ひの市議会だより
れた第3回定例会の
た。編集に当たって

伴うまちづくりに関する
 請願

ご意見、ご要望を

この時期、色々な場所で目にする菊の花は、存じのとおり日野市の市花です。高幡不動尊で開催される菊花展は、多摩地区最大級の展示会とのこと。市内だけでなく、多摩地区全域の菊愛好家が、丹精込めて育てた大輪や懸崖つくりの菊が、七五三を祝う家族連連れで、の絶好の写真撮影の背景になることでしょう。

ひの市議会だより第135号は、9月に開催された第3回定例会の模様を中心に掲載しまし

ご意見、ご要望をお寄せください。